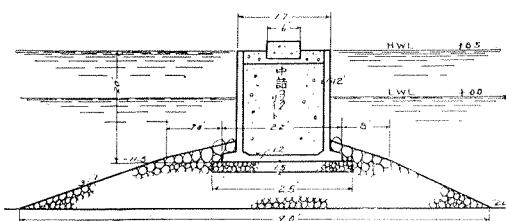


(8) 乾船渠内防波堤用鐵筋コンクリートケーソン製作中、乾船渠長150尺幅40尺深千潮面以下11尺

(8) Dock in Which Caissons are Cast, Length, 150'

## 運河及護岸

埋立地内運河は上幅四拾間、敷幅貳拾七間、水深干潮面以下拾尺のもの延長四千貳百三十間、敷幅二十間のもの延長二百五十五間、上幅六拾間敷幅四拾間のもの延長三百三十四間、上幅八拾間敷幅六十間のもの延長七百四間、此の全長五千五百



(9) 防波堤横断面図  
(9) Cross Section of Breakwater.

二十三間、水面積二十五萬三千二百拾坪にして、曳船解船の航行に支障なからしむ。

而して運河護岸は第五區第六區にありては木柵二段さし、第一區より第四區迄は鐵筋コンクリー

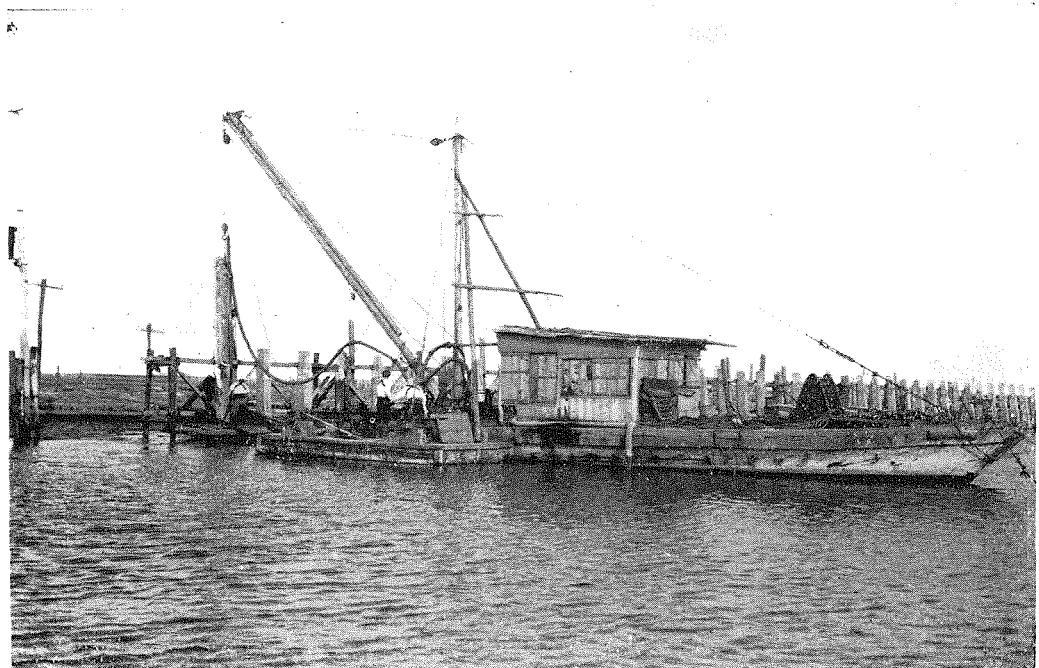
ト矢板式護岸の構造さし、錨地沿に對するものは凡て混凝土壁護岸さす。

## 錨地其他の諸備

埋立地前面護岸より三拾間を隔て、有効幅員二百五十間、延長二千二百六十間、此の水面積六拾萬坪の區域を水深干潮面以下三拾尺に浚渫し錨地さす。本錨地の西端より更に南西に向ひ、幅員二百間延長八百四十間、水深を錨地同様干潮面以下三十尺に浚渫し之を入港航路さす。

港口には燈臺を設け、其他航路標識繫船解標等適當の配置に設くるものさす。

本埋立地の交通は鐵道に於て東海道線川崎驛より支線を敷設し、國道に於ては京濱國道鶴見潮見橋に達する道路を初め、幅四間道路延長二千五百間餘にて國道に連絡をさり、埋立區域内の道路漸次完備しつゝあり。其他工場用動力としての水力發電設備及び水道衛生設備等に關する記述は他日稿を改むる事さす。



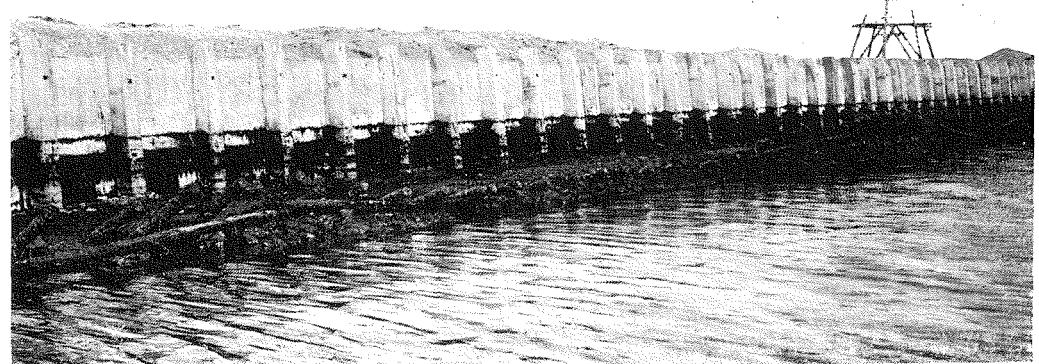
(10) 運河護岸築造中、鐵筋コンクリート杭打施工中 (10) Construction of Canal Walls with Concrete Piles.

鐵筋混凝土護岸の支柱打込は次の方法に依る

- 一、方 法 水射式
- 二、水射壓力 一二〇キロフ (ゐのうち三段式ポンプ  
使用)
- 三、水射ノ徑 1½"

#### 四、水射管ノ徑 1½"

鐵筋杭は八寸×一尺二寸×一九尺五寸にして、之を水射管と共に吊し、徐々に水射と自重とに依り砂中に入り込むものにして別段に打撃を加へて打込む事なし、工程は一日毎間丈約三十本位とす。



(11) 運河護岸築造中、鐵筋コンクリート杭及鐵筋コンクリート版 (11) Completed Walls Showing Concrete Plates Behind Piles.